

第5次 高砂市総合計画「後期基本計画」骨子案

1 計画策定の趣旨

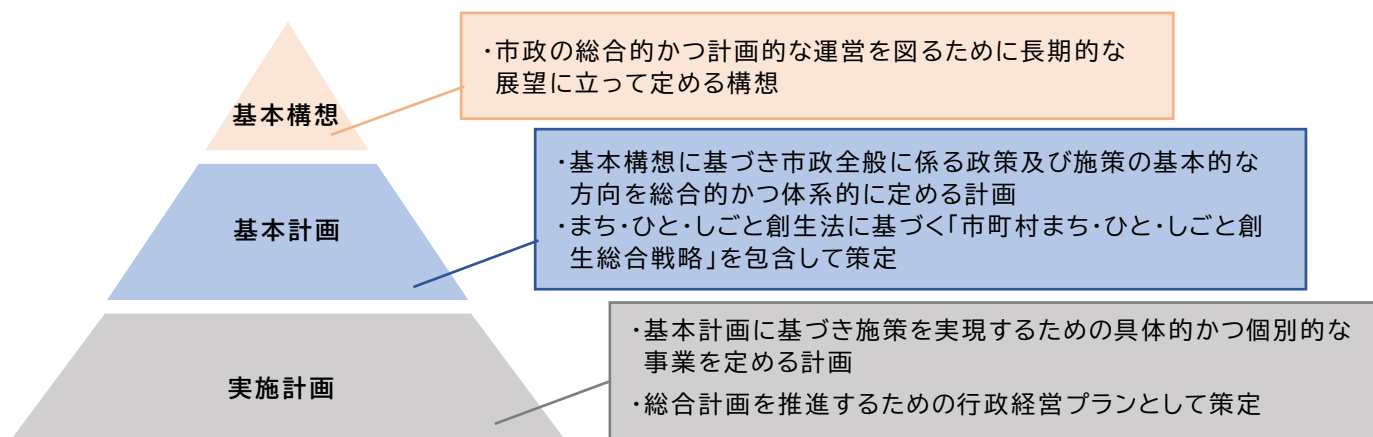
高砂市(以下、本市という。)は、市政の最上位計画として、2021(令和3)年度に「第5次高砂市総合計画」を策定し、将来像に「暮らしイキイキ 未来ワクワク 笑顔と思いやり育むまち 高砂 ～SDGs で共に夢を描こう～」を掲げ、政策及び施策を展開してきました。

この間、私たちを取り巻く環境は、大きく変化してきています。少子化等による人口減少が進行するなか、近年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うライフスタイルの多様化や、デジタル技術の高度化が進んでいます。世界的には、多様性を認め合うダイバーシティ社会の実現や「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた機運の高まりなどが国際社会や経済に広く影響を与えています。

また、近年激甚化する自然災害や地球温暖化、犯罪・事故等から、市民の生命を守るという安全安心の取組の重要性が増しています。

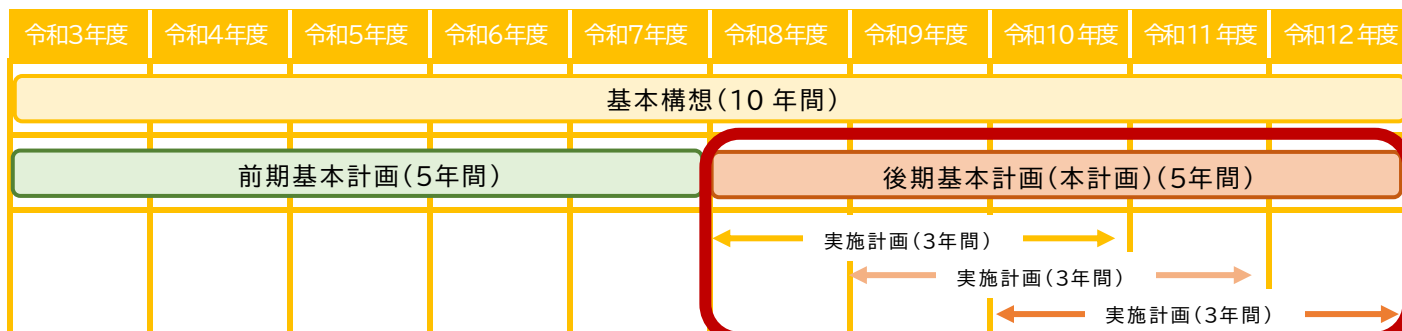
こうした状況の中、現行の「第5次高砂市総合計画(前期基本計画)」(以下、「前期基本計画」という。)が令和7年度に計画期間の満了を迎えることから、令和8年度を初年度とする「第5次高砂市総合計画(後期基本計画)」(以下「本計画」という。)を策定し、社会や環境の変化に対応しつつ、市民との協創のもと、本市の持つ地域資源を十分に活用し、魅力を創出することにより、今後も住みやすく、また住みたいと思えるまちづくりを進めることとします。

2 計画の構成



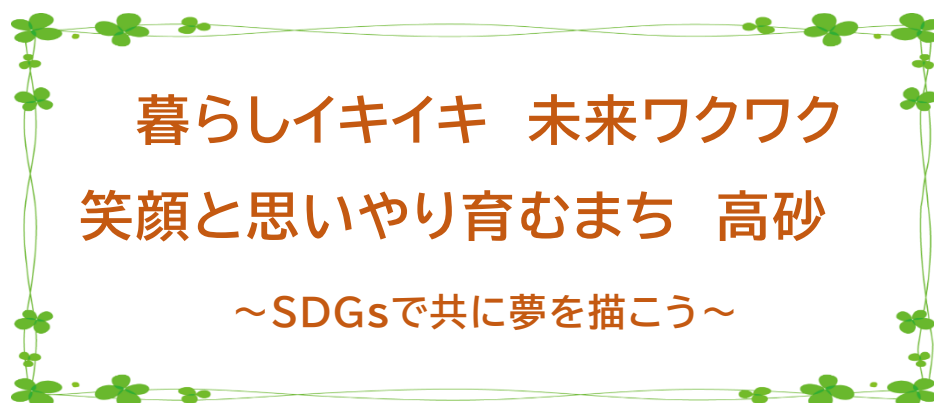
3 計画の期間

基本構想の計画期間は、2021(令和3)年度から2030(令和12)年度までの10年間とします。

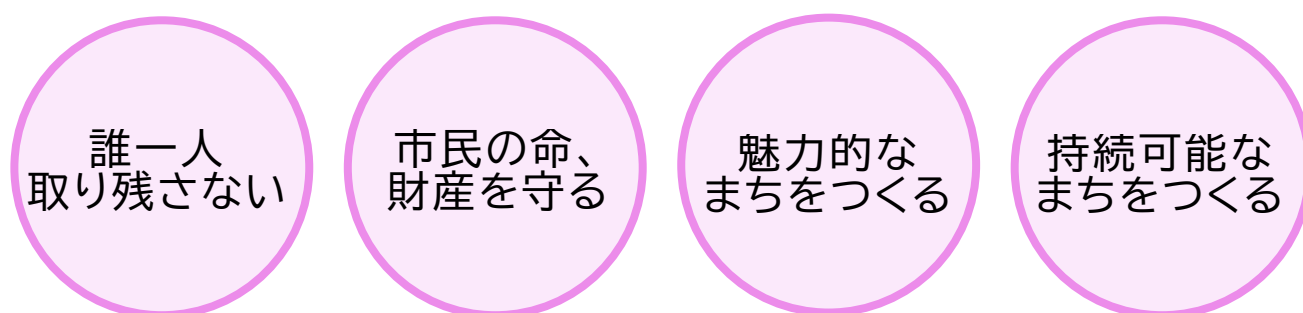


4 基本構想

■2030 年高砂市の将来像



■基本理念



■基本目標

将来像を実現するため、次の4つの分野を重視し、基本目標とします。

ひと【共生】

育み、認め合い、元気に生きるまち

まち【共創】

地域の魅力を共に創る、活力あるまち

くらし・しごと【共感】

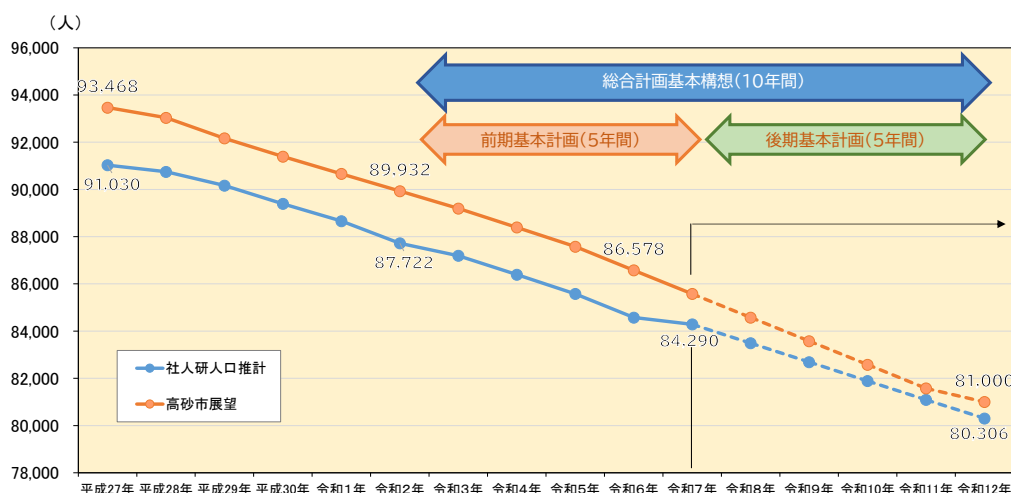
楽しく、つながり合い、活躍するまち

行政【共治・共有】

もっと行政が寄り添うまち

■高砂市人口ビジョン

人口ビジョンに基づき、2030(令和12)年の人口展望を81,000人とします。



5 基本計画

4つの基本目標の達成を図るため複数の政策を掲げ、その政策を進めるため複数の施策を体系的に示しています。これらを総合的に行うことで基本目標の達成を図ります。

【4つの基本目標】

【政策】

基本目標1	育み、認め合い、元気に 生きるまち 【共生】	1	みんなが子どもを育てるまち【子ども支援政策】
		2	子どもが学ぶ力を育むまち【教育政策】
		3	個人が尊重し合い、安心して平和に暮らすまち 【人権政策】
		4	地域で自立を支え合い、つながり合うまち【福祉政策】
		5	健康を維持し、医療サービスを安心して受けられるまち 【健康・医療政策】
基本目標2	地域の魅力を共に 創る、活力あるまち 【共創】	1	住民が望む、暮らしに良好な住環境のまち 【まちづくり政策】
		2	公共交通が暮らしの利便性を向上させるまち 【公共交通政策】
		3	資源を活かした特色ある産業、暮らしを支える産業が あるまち【産業政策】
		4	環境にやさしい暮らしがあるまち【環境政策】
		5	犯罪・事故・災害から市民を守るまち 【防犯・消防・防災政策】
基本目標3	楽しく、つながり合い、 活躍するまち 【共感】	1	誰もが社会に参加し、その人らしく活躍するまち 【活躍・労働政策】
		2	まちを考え、行動する市民活動があるまち 【市民活動政策】
		3	愛着と誇りを感じるまち【移住・定住、関係人口政策】
		4	豊かな生きがいとつながりを感じるまち 【文化・スポーツ政策】
基本目標4	もっと行政が 寄り添うまち 【共治・共有】	1	市民が求める能力を持つ人材が育つまち 【職員育成政策】
		2	つかいたくなる公共施設が気持ちよく利用できるまち 【公共施設政策】
		3	情報の公開と活用が進み、市民サービスが向上するまち 【情報政策】
		4	人口減少に対応する公正な行財政運営をするまち 【行財政運営政策】

6 重点評価指標

基本目標の達成に向けて基本計画に取り組むと改善すると考えられる指標のうち、重点的に注目する指標を「重点評価指標」として設定し、目標値として望ましい値を設定します。

No.	項目	統計名	現状値	目標値
1	幸福と感じる人の割合	市民満足度調査	65.2%	75%
2	高砂市の人口	兵庫県推計人口	84,101 人 (時点変更予定)	81,000 人
3	高砂市が住みよいまち と思う人の割合	市民満足度調査	69.9%	80%
4	SDGsの取組を 実施している人の割合	市民満足度調査	47.9%	60%
5	施策の認知度	市民満足度調査	20.2%	30%

で囲んだものは、後期基本計画で新しく重点評価指標としたものです。

重点指標の見直し理由について

後期基本計画では、人口が多かった時代には戻らないことを前提に、「暮らしイキイキ、未来ワクワク、笑顔と思いやり育むまち高砂」の実現に向け、人口減少対策だけでなく、人口減少と少子化の現実を受け止め、適応策の検討や取組を促す、重点評価指標を設定します。

なお、国の地方創生 2.0 基本構想においても、人口減少に歯止めをかける考えの下で課題解決に取り組んできたが、今後は人口減少を正面から受け止め、人口減少が進む中でも、多様な幸せ、「新しい日本・楽しい日本」を創り出す、としています。

- ① 基本構想の令和12年人口展望は、社人研推計を踏まえ、高すぎる人口目標を、現実的な水準に改めます。
- ② 人口関連指標は、3つから1つに整理します。
- ③ 「住みよいまちと思う人の割合」と「SDGs の取組を実践している人の割合」は継続します。
- ④ 「市内事業所の従業者数」は削除し、新たに「幸福と感じる人の割合」を追加します。
- ⑤ 行政運営の指標は、市民への説明責任を重視する指標として、「施策の認知度」に変更します。